

「積極的平和主義」

日本の安全保障の基本理念です。



日本の平和と安全のために 世界の安定と繁栄のために

いま世界では、核兵器や弾道ミサイルだけではなく、サイバー攻撃のように、私たちの暮らしを直接に脅かすものも増えており、どの国も自分たちの力だけでは、自国の平和と安全を守ることが難しくなっています。

「積極的平和主義」は、国民の生命を守りつつ、世界の平和と安定のために積極的に取り組んでいくことであり、積極的平和主義にのっとり、私たちの身の安全と財産が脅かされないようにすることが安全保障の役割です。安全保障を進めることにより、日本や世界の平和が脅かされるのを未然に防ぐことにつながります。

「国家安全保障会議」の発足

国際社会と協力して、いかに危険を未然に防ぐか。それには様々な国と連携して情報収集を行いつつ、あらゆる事態に迅速に対応することができる体制を整えることが必要です。

昨年12月、日本版NSCと呼ばれる**国家安全保障会議**が発足しました。総理大臣を議長とし、外交・防衛政策の司令塔となります。

各国のNSCとも連携し、情報をやり取りすることは、日本の安全をより確かなものにしていくことにつながります。

「国家安全保障戦略」に基づく取組

昨年12月、日本の安全保障の基本方針として、**国家安全保障戦略**が日本で初めて策定されました。

その中では、国を守るということだけではなく、いかに諸外国と経済や人材・情報の交流を進めていくか、グローバルな問題に、世界と連携してどのように取り組んでいくか、などを明確に示して、様々な取組を実施していくことを約束しています。日本と世界の安定・安全、そして繁栄のための取組こそが、国家安全保障です。

[この広報に関するお問い合わせ] 内閣官房国家安全保障局 TEL.03-5253-2111(代表)



写真提供 防衛省



政府広報 | 内閣官房

詳しくは [内閣官房国家安全保障局](#)

[検索](#)